

計画推進部会の点検・評価の結果について

1 部会開催状況

計画推進部会は、2回に分けて開催し、第二期宮崎市子ども・子育て支援プラン推進施策の令和2年度取組状況について、第1回全体会資料をもとに点検・評価を実施しました。

第1回は、7月29日(木)に会議形式で開催し、事務局からの説明をもとに点検・評価を行いました。

第2回は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、8月5日付け書面開催とし、事務局からの補足説明資料をもとに点検・評価を行いました。

2 点検・評価の結果

資料2において、各推進施策の進捗状況に対する委員の点検・評価の結果と意見を集約しています。全体の評価結果は以下のとおりです。(各委員の意見については、資料2をご覧ください。)

なお、全体の評価については、各委員の評価結果を基に、以下の判定基準で行いました。

<評価結果>

推進施策	評価結果	推進施策	評価結果
1-(1)	※(評価が分かれた)	3-(1)	どちらかといえば順調である
1-(2)	順調である	3-(2)	順調である
2-(1)	評価保留	4-(1)	順調である
2-(2)	順調である	4-(2)	どちらかといえば順調である
2-(3)	どちらかといえば順調である	5-(1)	どちらかといえば順調である
2-(4)	どちらかといえば順調である	5-(2)	※(評価が分かれた)

<評価の判定基準>

順調である=A、どちらかといえば順調である=B、あまり順調でない=C、
順調でない=D、評価保留=E

- ①委員の過半数がAと評価した施策は、「順調である」と評価
- ② " Bと評価した施策は、「どちらかといえば順調である」と評価
- ③ " Cと評価した施策は、「あまり順調でない」と評価
- ④ " Dと評価した施策は、「順調でない」と評価
- ⑤ " Eと評価した施策は、「評価保留」と評価
- ⑥委員の評価が、A評価、B評価それぞれでは過半数とならず、合計して過半数となった施策は、「どちらかといえば順調である」と評価
- ⑦委員の評価が、C評価、D評価それぞれでは過半数とならず、合計して過半数となった施策は、「あまり順調でない」と評価
- ⑧委員の評価が、A～Eに分かれ、上記①～⑦のいずれにも該当しない施策は、「※(評価が分かれた)」と記述

3 部会長総括

点検・評価の結果、「1-(1)教育・保育内容の質の向上」、「2-(1)地域における子育て支援の推進」、「5-(2)虐待などのない社会づくりに向けた取組の推進」を除く推進施策については、「順調である」または「どちらかといえば順調である」と評価しました。

「1-(1)教育・保育内容の質の向上」については、「順調である」「どちらかといえば順調である」と評価した委員が4名いる一方で、「あまり順調でない」が3名、「評価保留」が2名と評価が分かれる結果となりました。各委員からは、コロナ禍においても教育・保育の質の向上に取り組めるよう、各施設でのリモート研修を充実させてほしいという意見が多く出されました。

「2-(1)地域における子育て支援の推進」については、「評価保留」としました。コロナの影響を受け、目標値に対する実績が非常に低かったことが要因と思われます。一方で、「ファミリー・サポート・センター利用促進事業」のように、コロナ禍で柔軟に対応した事業を評価する意見もありました。

「5-(2)虐待などのない社会づくりに向けた取組の推進」については、「順調である」「どちらかといえば順調である」と評価した委員が4名いる一方で、「あまり順調でない」が2名、「順調でない」が1名、「評価保留」が2名と評価が分かれる結果となりました。各委員からは、市の啓発に対する取組状況が見えにくいという意見が多く出されており、コロナ禍で出前講座ができない場合に、他の方法での啓発活動に取り組むなど柔軟な対応をお願いしたいと思います。

最後に、各推進施策において、新型コロナウイルスの影響を受け、計画どおり実施できていない事業も散見されました。

そのような事業については、現在のコロナ禍の状況が当面は続くことも想定し、今回委員から出された意見も参考にしながら、柔軟な対応をお願いします。

また、令和4年度に行われる第二期子ども・子育て支援プランの中間見直しにおいては、コロナ禍を踏まえた見直しが必要であり、そのためにも、今のうちから、分析に必要なデータや統計の整理をお願いします。